

第 8 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事録

日 時 令和元年 9 月 9 日（月） 17 時 30 分開会 19 時 00 分閉会
場 所 中央図書館 3 階視聴覚ホール
出席者 委員 7 名

船崎委員長、松山職務代理者、赤羽委員、大津委員、金子委員、
北本委員、安形委員

事務局 10 名

鎌田図書館長、柏倉吉祥寺図書館長、目澤プレイス副館長、
盛田課長補佐、加藤課長補佐、前田課長補佐、秋庭係長、
岡野係長、佐々木主事、須藤主事

【司会】

定刻となったため、第 8 回武蔵野市図書館運営委員会を開会する。

まず、傍聴について。

本委員会はお配りした傍聴基準に基づき、会議を公開している。傍聴者が
いる場合には、基準に基づき傍聴を許可していることをご承知おきいただき
たい。

今回使用する資料を確認する。

- ・ 会議次第
- ・ 資料 1 第 6 回の会議録
- ・ 資料 2 視察先比較資料
- ・ 資料 3 市民のサービス水準等に関するアンケート調査について
- ・ 当日追加資料

以上となる。

それでは、次第に沿って、この後の進行は委員長にお願いしたい。

【委員長】

それでは議題に入る。議題の 1、前回議事録の確認について。事務局より
説明をお願いします。

★ 議題 1 前回議事録の確認について

【事務局】

それでは議題 1 前回議事録の確認につきまして事務局より説明する。資料 1 をご覧いただきたい。事前にお送りしているが、前々回 6 月に開催した委員会での議論の内容を要録として取りまとめたのが、今回の資料となる。今回の運営委員会で、確認いただきご承認をいただければ、委員会終了後に HP で公開したい。

【委員長】

本件について、何かありましたらご意見、ご質問をどうぞ。

【委員】

議事録全般の作り方に関して。委員会が終わって、今回だと 2 ヶ月近く間が空いてしまっている。2 ヶ月後に確認という形だと私に関しては記憶があやふやになってしまう。委員会が終わって 1 週間であらあらで構わないので一回素案を送っていただき、皆で確認し、最終的な決定は次の委員会でという流れに変えた方が良いのではないか。私も昔議事録を書いていたこともあるが、鉄は熱いうちに打てということで一週間くらいでばーっと書いていた。検討していただきたい。

【事務局】

なるべく早いうちにとは思っている。しかし、1 週間でとなるとなかなか難しいかもしれない。あらあらのものを送るというより、きちんとできたものを皆さんに見ていただくようにしたい。

【委員長】

それでは、この内容で協議内容として公開することとしたい。

次の議題に移る。事務局より説明をお願いしたい。

★ 議題 2 中央図書館の運営形態の検討について

① 調布市、新宿区の視察報告について

【事務局】

それでは引き続き、議題の 2 について説明する。

中央図書館の運営形態の検討について。

資料 2 「視察先比較資料」をお願いしたい。こちらも 7 月に行ったものな

ので、記憶が薄れてしまっているかもしれないが、簡単にまとめたものになる。

～視察先比較資料（資料２）説明～

【委員長】

それでは、ご意見、ご感想、ご質問があればお願いしたい。
この議論では運営形態がテーマとなっているが、必ずしも直営にするのか指定管理にするのかという議論よりは、武蔵野市の図書館をこうしたらどうかという案を視察先の事例も参考にして出し、議論の中で結論を必ずしも出すという必要はないかと思う。また、武蔵野市の場合、事業団方式という市が大きく関わっているところに指定管理を出すという選択肢がある。TRCなどの一般の指定管理に出すのとはまた違う。このような図書館になって欲しい、このような運営をして欲しいといった指定管理・直営ありきではない議論をして欲しい。

【委員】

予想外だったのが、図書の購入費が武蔵野市は潤沢だと思っていたのだが、こう見ると新宿区・調布市より少なく、驚いている。武蔵野市はリクエストしても割と買ってくれるし、蔵書数も多いので図書購入費が少ないことは意外であった。

【委員長】

人口や分館数の違いではないか。新宿や調布は武蔵野より人口が多い。

【事務局】

人口は、調布が23万、新宿が34万、武蔵野が14万である。分館数は新宿が13館あるため、そのような理由ではないかと思う。人口一人当たりの図書館費で見ると、人口15万人以下の地域での比較だと、武蔵野は全国でトップクラスである。

【委員】

武蔵野市でもエキスパート職員のような制度があるが、図書館の枠がないと言っていたが、それぞれの部署で枠があるという話なのか。

【事務局】

このような職種にエキスパートを置きましょうというものを決めており、現在あるのが税と福祉の分野である。

【委員】

図書館が入る余地はないのか。

【事務局】

今まで図書館に関する議論はなかった。

【委員】

中央館をどうするかという議論もそうだが、ある程度分館を委託している中で、図書館に長期間いる調布の図書館長のような図書館に熱い方がいると、図書館のポリシーのようなものが継承されていくのかなと思う。人事に絡む話はこの運営委員会でする話ではないのかもしれないが、そのような人材を育てるということでいうと、中央館を外に出すという議論をするのであれば一緒に合わせて検討しておいた方がよいのではないかなと思う。

【委員長】

人材の育成というのは非常に重要であるし、続いていくというのは大事であると思う。それは是非どのような形であれ、残して欲しいと思う。

【委員】

吉祥寺やプレイスのような財団法人へ出すのが一般的かなと思っていた。その方が市も融通が利くだろうし。しかし、新宿の場合は民間の企業に図書館の運営を任せているというのは驚いた。指定管理者制度を完全な民間企業に任せるというのも有りなのだなと思った。民間企業を活用している図書館があるというのを知っただけでもだいぶ勉強になった。

【委員】

新宿は10館分館があり、全て指定管理になっているが、それは中央館が直営でしっかり核があるからこそできているのではないかなと思う。全部委託してしまっただけで、核になる人がいなくなってしまうのは大変危険な感じがする。図書館の仕事はすごく地味だが、継続していないと途切れてしまい、回らなくなってしまう特殊な仕事だと思う。そのあたりは簡単に委託で投げてしまうのはやめていただきたいというのが私が視察に行った感想である。

【委員】

私も皆さんと同じような意見なのだが、調布の図書館長の語りがとても強く、ずっとやっているところまで強く話が出るのかなというインパクトが驚きだった。武蔵野で私が一番残念だなと思っているのが、中央が品が良くてかっちりどっしり運営をしているという印象で、プレイスは有名で若い人も多く来ており、活気があるのだが、市民からすると位置がとても端っこなので使いたくてもあまり使えておらず割と残念な図書館である。行けば楽しいのだが、混んでいるし、中央館ももう少し活気があると良いかなと思っている。この間中央館のデイジーのイベントに参加したのだが、すごく面白く、話す方がとても話のうまい方で、障害者だけでなく、これから高齢者にも応用していける話であると思った。私は今委員をやっているのでアンテナが高く、参加できたが、普通の市民の方は来ないのではないかな。すごくいいイベントをやっているのにもったいない。市民になかなか知られていない。どっしり静かに運営しているという印象がやはり私の中にある。プレイスはとても騒がれているので意識しなくても情報が入ってくる。中央館もせっかくやっていることが市民にきちんと伝わっていないということが解消できればと思う。そうすれば職員の方のやりがいにもつながると思う。人が変わってしまうということで、同じポリシーをずっと繋いでいくというのは難しいと思うが、今の人たちは面白いことや何かキーになることがあると集まってくるので、中央館はそのような役割ではないというのは委員会で何度も聞いているのでこれを言ってもしょうがないのかなと思うのだが、でもやはり調布の力強さというものを感じた時に武蔵野はそのような潜在能力は絶対あると思っているので、もったいないなというのを感じた。

【事務局】

お話しの趣旨としては事業をもう少し PR した方が良いのではないかなという提案かなと思うのだが、それについては中央圏の地域拠点として中央館はやらなくてはいけないと思っている。計画でもそのように整理をした。そこのところに今力を注ぐだけの余力が弱くなっているのは課題と認識している。中央館でも映画会を毎月やったり、プレイスや吉祥寺より回数は多く開催している。また、いくつか独自の事業をやったりしているのだが、地理的な問題もあるのだろうが、そういった点は至らない部分もあるのかなと思っている。

障害者サービスの話に関しては来る方は限られるかなと思っている。

【委員】

障害者サービスということではなく、今回の講演も障害のある方だけの話ではなかった。読書バリアフリーのためにということが書いてあるだけだと、何だろう？と思ったところで皆止まってしまうと思う。市報に出ている内容にもう数行追加してもらえともう少しみんな食いついてくるのかなと。その辺の工夫が一つできるとせっかくやっているのにもったいないことがもったいなくなくなって、もう少し人が集まる。

【委員】

委員が言っているのは、本のテキスト化という文言だと思う。

【事務局】

ターゲットが障害者サービスのボランティアさんを中心に考えており、あのような形の周知になるのかなと思う。その辺は個別の問題として考えていきたいと思う。

【委員】

本のテキスト化という文言を見た時に本のテキスト化ってどういうこと？と普通の人が見たら全く意味が分からず、素通りされてしまう。それをタイトルで、テキスト化という文言で出してしまった時点でとてももったいないかなと思った。それをもう少しキャッチーなコピーをつけられるとよい。誰でも分かるような表現でイベントを出すと、最近中央図書館は面白いよねと思ってもらえる。そのようなことが大事だと思う。

【委員】

今回の視察は結局新宿も中央館は直営で、調布は全て直営ということで、運営形態を考える時にもしも中央館も含めた全ての館の委託運営を考えているのであれば、さらに全ての館を出している自治体の事情もどこかで知れるとよいのではないかと思う。

【事務局】

そのような自治体もいくつかあるので、視察することは可能かと思う。例えば千代田区、三多摩では青梅市、昭島市もある。区部は3か4自治体が確か全て指定管理だったかと思う。

【委員】

文京区はまだ直営か。

【事務局】

文京区はまだ真砂図書館が直営だったと思う。新宿区の前に文京区に行こうと思っていたのだが、日程が合わなかった。先ほど委員が言われた武蔵野方式のような財援団体に出すという自治体は全国的には珍しいと思う。

【委員】

そうなのか。市の関係団体に出すのはコミュニケーションがよくできるのではないかと思う。民間に出すのがよいのか、関係団体に出すのがよいのかは私では判断がつかないが。

【委員】

どちらかと言うと数少ない。民間ではないような所に委託しているのは基本失敗している所が多く、戻すといった話になっているように思う。愛知県の新城市だったり、北九州だったり。東京のお金のある自治体とは事情が違うが。

【委員】

中央図書館は、この場所だけではなく、市の小中学校や大学などの市内の施設との繋がりもあると思うので、そこは大切にしていってほしい。そういった連携のことを考えると、やはり中央館は直営の方が進めやすいと思う。学校図書館との連携は大変ありがたいことなので、直営でいてもらえると助かる。

【委員】

学校図書室の司書さんというのはどのような形の雇用なのか。

【委員】

嘱託の司書の方がいる。図書の間は毎時間いてもらえる形で、週5日入っている。嘱託なので、朝8時15分から17時までという訳ではない。図書の間は本の紹介などをしてくれる。

【委員】

その方は図書館の方ではないのか。

【委員】

図書館ではなく、学校の嘱託であり、司書の資格を持っている。

【事務局】

図書室サポーターさんは嘱託員ではなく、待遇はアルバイトである。指導課の方で管轄しており、採用等も全て指導課で行っている。資格を持っているのかどうかは分からないが、皆さんとても熱心で自分の時間を使って中央図書館へ来て本を借りていかれたり、研修に行かれたりとしている方が多く、サポーターさんの熱意で持っている所がある。図書館の管轄ではないので、何とも申し上げられないが、私自身の印象としてはもう少し待遇を改善してあげて勤務時間も長くし、蔵書点検などの時間も作ってあげられるとよいのではないかと思う。

【委員】

蔵書点検の時間はある。

【事務局】

蔵書点検の時間もあるとは思いますが、とても大変な作業なので、おそらく自分の時間を使ってやっている方が多いのではないかと思う。

【委員】

蔵書点検の期間はきちんととっている。また、司書の資格は皆さん持っていると思うのだが。

【事務局】

それは分からない。資格を持っている人が多いのではないかとは思いますが。図書室サポーターさんの募集は市報の募集などには載らないのでよく分からない。

【事務局】

校長先生の方で探してということもあるのか。

【委員】

サポーター制度が始まったのはかなり前だと思うが、皆さんとても長く勤めている方が多い気がする。教員は6年で異動があるが、サポーターさんはもっと長く勤めている人が多い。そんなに時間外に来ているというようなことはないかと思うが。

【事務局】

中央図書館は金曜日が休みで、土日は来れないので、時間外に来て本を借りるという方を何人か知っている。

【委員】

一応武蔵野市のWEBサイトを見ると、登録資格は司書資格または司書教諭の資格をお持ちの方となっているので何らかの資格は持っているようだが、確かにいつ募集するのかもよく分からない。

【委員】

図書館の管轄なのかと思っていた。

【委員】

いや、学校の図書館は学校の管轄である。

【委員】

勤務時間などがフレキシブルなので続けられているという感じなのか。

【委員】

フレキシブルというか、週5日と決まっている。おそらく年々勤務条件というのは変わってきているのだと思う。学校で任用している方ではあるが、長く勤めており、ポリシーを持った方が多い印象である。

【委員】

アルバイトというのはどうかと思う。学校は特殊だと思うが、それなりの処遇にしてあげてもよいのかなとは思いますが。アルバイトは可哀そう。

【委員】

学校の司書が努力義務になったのは最近だが、それ以前から学校図書館に対する支援を教育委員会の方でやっていたということが逆に本来法律が

できた時に待遇をよくできたのが、あるからいいじゃないという風になってきたというように推測される。小平市も同じような感じである。小平市は図書館の方で学校図書館協力員というものを設置しているのだが、昔からあったからということで待遇はあまり良くない。ただ、小平市は図書館の管轄にしてしまったので学校との連携がうまくできず困っているようである。武蔵野市は教育委員会マターにしているのでまだ良い。

【委員】

授業にも加わってもらったり、図書館のマナーのようなものも教えてもらえるので大変ありがたい。

【委員】

図書館の運営形態と各種施設の連携についてだが、理論上は仕様書にきちんと書いておけば、例外外に出したとしても続くということになるのだが、多分民間に受けた方としては仕様書に書かれていることを満足させればということになるのではないかと思う。連携という部分も重要な観点ではないかと思う。

【委員長】

重要な話が出てきている。人をどう配置するにせよ、引き継がれていく方針がぱたんと変わってしまうのは困るというのが一番大きな問題。また、他の施設との連携というのも一つ。

【委員】

個人的な意見でいうと、やはりどこかは直営で残さないとまずいのかなとは思っている。図書館に関して全てを外に出してしまうと、戻すノウハウがなくなってしまうので。中央館かどうかは別として、どこかは残すべきと思う。特に武蔵野市は問題ないと思うが、公募をしてもあまり応募がないところが増えている。

【委員】

それはお金の関係か。

【委員】

民間活力の活用ということで指定管理者制度を導入しても、実際は強力なところがとった場合は、次その募集があったとしても、どこの業者も

応募しなくなってしまう。だいたい初期の頃は指定管理者制度を活用した公募を行った場合、5, 6の業者が来ていたのが、今はほぼ平均1.4とかになってきている。ただ、武蔵野市は先ほども言ったようにかなり特殊な事例のため、違うとは思いますが。

【委員】

やはり一度大手がとってしまうと、新しい企業が手を挙げにくくなってしまふということか。それよりいい運営をしますよと手を挙げる企業は中々ないと思う。

【委員】

そんな中で視察に行った新宿区は23区ということもあり、さらに新宿という大都市の中の図書館なので公募が結構数多く来ているということだったのでそこはかなり強気で行けるのではという印象を受けた。あんなことは他の自治体ではできないと思う。

【委員長】

他に何かあれば。

【委員】

私は新宿区でびっくりしたのは体育館を書庫にしているということである。あれは一見の価値があると思う。テレビかなんかに映してもよいと思う。あれだけのスペースがあれば、学校と体育館を壊せばとても良い図書館ができると思う。

【委員長】

この議論はまたもう一回続けるというイメージか。

【事務局】

今日いくつか意見をもらったが、もう少しその辺はいただけたらと思う。どちらかというたとえばこのようなことができる職員をやはり武蔵野は育てていけるような体制でやって欲しいなどの意見が欲しい。例えば自分が図書館に行って質問をしたらこのレベルまで返してほしい、このレベルの職員は欲しいなどあればいただければと思う。

【委員】

図書館の職員に関してということか。

【事務局】

直営であろうが指定管理であろうが関係なく、図書館にいる職員はこうであって欲しいというもので構わない。

【委員】

図書館の職員さんの対応が神的対応でとても感動したという話ならあるが、要望と言われると難しい。

【事務局】

それでも良いので教えてほしい。

【委員】

私は音楽が好きで、昔聴いた CD で廃盤になってしまったものでも図書館は結構持っているので東京都横断のやつで調べて借りたりしている。武蔵野市以外どこにもなかった CD を見つけて借りに行った。書庫にあるということだったので、15 分後に来てと言われ、15 分後に行くと、どうしても見つからないとのこと。データ上はあることになっているので、30 分程度待っていただければ探しますと言われた。しかし、やはりそれでもないとのこと。数日かけて探してまた連絡するというのでその日は帰った。その後電話がかかってきて、それでも見つからない。どうしてそうなってしまったのかも分からない。大変申し訳ないが、蔵書点検の際にまた探してみるのでもその後また連絡してくれることとなった。その後もやはり見つからなかったということで連絡をいただいた。その時に、私のこのようなマニアックな質問に対しても丁寧に、時間を割いて調べてくれて、武蔵野市は素晴らしいと感動したことがある。それだけでとても印象が良くなり、きちっとしている方が働いている図書館＝図書館全体が素晴らしいと思える。

【委員】

半世紀近く前よく図書館業界で言われていたセリフに「草の根をわけてでも探し出せ」というものがあった。最近あまり聞かないなと思っていたが、武蔵野市にはそのスピリットが残っているということではないか。ある意味では全ては利用者のためという原点のような話ではないか。一見、他がやっていないようなことをやってカッコいいと言われるのも良いが、

そればかりではなく、先ほどの話のような利用者サービスの原点を今後大切にしていってほしい。

【委員長】

次回でまたこの内容については話し合いたいと思う。

それでは、続きまして（３）「市民のサービス水準の確保について」に移りたいと思う。

事務局より説明をお願いしたい。

【事務局】

～市民のサービス水準の確保についてアンケート調査内容説明～

【委員長】

これを見ても分かる通り、武蔵野市は市外の占める割合が非常に高いということが分かる。これを元に市外に対する制限をどのようにするかという話の参考になると思う。

【委員】

３館の中でもプレイスが圧倒的に市外の人が多い。それはプレイスの場所が良すぎるからである。あんな駅前の一等地にあんな建物を作ったら、市民よりも定期券を使って電車を利用している人が途中下車して使うに決まっている。定期券を持っていない市民は歩いてプレイスまで行かなくては行けないが、定期券を持っている市外の方は簡単に利用することができる。武蔵野プレイスを武蔵境の駅前の一等地に作ったらこのような結果になるのは目に見えていた。もしもプレイスを中央図書館のような場所に作ったら、わざわざ来る市外の方はかなり減るであろう。あんな一等地にプレイスだけを作った武蔵野市は馬鹿である。あんな良い場所は他にはない。プレイスだけで終わらせるのは残念。もっと高層にし、上を使って欲しかった。この市外の方の利用が多いという問題はプレイスのせいであるという一語に尽きると思う。あそこに作ったのだからしょうがなく、だから制限するのではなく、諦めるしかない。

【委員】

清瀬も市の境に図書館が多くあるため、地理的におそらく武蔵野プレイスという日本で一番人気の図書館が市の端っこにあり、かつ駅の目の前にあるというのはある意味ではしょうがないのかなという部分はあると思う。しかし、何がしかの検討はしたという形跡は残した方が良いと思う。

【委員】

吉祥寺図書館も駅から近く、便利であり、各館もそれぞれ個性があり素晴らしい図書館なので、しょうがないことではないかと思う。多少市民が優遇されても良いかとは思う。

【委員】

杉並の図書館は、高円寺駅の構外をすぐ出たところに本を貸し出せる場所があり、私が予約した際はそこで受け取り、返却をするようにしている。わざわざ図書館に行かずにできるので重宝していた。

【委員長】

武蔵野市も駅のすぐ近くで本の受け取りができるサービスなどは検討したことはあるのか。

【事務局】

ブックポストの検討のみである。いくつかそのような駅の近くで受け取れるような仕組みを作っている自治体はあるが、そのようなサービスを市民だけが受けられるということもできるかなと思う。例えば三鷹駅にそのようなスポットがあれば、市民の方もだいぶ便利なのかなという気もする。費用対効果にもよると思うが。

【委員】

杉並も何度も利用したことはあるが、そこにいる職員の人はやりとりはかなり煩雑で、大変だろうとは思った。図書館側からすると手間暇がかかって大変であろう。

【委員】

市民と市外の差別化をして、市外の人に制限をするのではなく、市民に何か特典をつけるという考え方をした方が楽になるのかなと。例えば八王子市が郵便局と連携を始めたと思う。

【委員】

この間視察した新宿は東京都内の方か区内に在勤在学している人が利用できたと思うが、これは図書館利用を増やすための方策かなとは思っているのだが、武蔵野プレイスは想定していた利用者より多すぎるといった部分があるのだとは思っているが、市外に対して制限をするというのはかっこ悪いという気がする。新宿区のように都内に住んでいれば誰でもウェルカムみたいなのは図書館的な精神であるのに対し、武蔵野プレイスに入る前に関所のようなものがあり、武蔵野市民ですかというのはいかがでしょうかと思う。必要だと思う一方で、難しいなと思う所もある。

【委員】

プレイスがあることでとても良いPRになっている部分もあると思う。

【委員】

図書館が街のコアになるということを印象付けたのはプレイスだから、武蔵野市のシンボルでもある。そのプレイスが拒否をすることは許せない。皆にプレイスを気持ちよく利用してもらいたい。

【委員】

よく図書館をコミュニティの核にしましょうというのが最近流行っていると思うが、その実践版としてプレイスはとても成功している例だと思う。むしろ中央も同じように開かれた図書館になって欲しい。

【委員】

小金井市は確か利用登録に制限を設けていない。その隣で武蔵野市が鎖国のような状態にするのはどうかと思う。市民に対して少しプラスを与えてますよ程度の方が良い気がする。清瀬なんかは%的には市外が多いが、特に何か制限等やっているのか。

【事務局】

そこはまだ調べ切れていない。まだアンケート調査の集計の途中なため、詳細な資料は次回出したいと思う。

【委員】

調布で行っている宅配ボランティアなども素敵だなと思う。宅配は市民

限定だと思うが、そのような仕組みを作ってもらえたらと思う。難しいのかもしれないが、コミセンで本の貸し借りが出来たらよい。

【委員】

コミセンを配本所にしたらという案が昔出たのだが、確かその時はコミセンはコミュニティ協議会が指定管理になっており、その制度上難しいということになった記憶がある。

【委員】

数も多くあり、郵便局より身近である。

【委員】

確か所沢市ではファミリーマートで貸し借りができる。

【委員】

一つ要望なのだが、開館時間について 23 区は昔から 9 時で、多摩地域は 10 時からであった。武蔵野市はその中でも 10 時からではなく、9 時半からだといい気になっていたのだが、調布はもう 9 時からやっている。やはり希望としては武蔵野も 9 時からにしてもよいのではと思う。

【委員】

プレイスが閉鎖的なことをやるととてもイメージダウンになってしまったと思う。スマートにやって行って欲しい。

【委員長】

では、最後その他にうつりたいと思う。

【事務局】

それでは、次回の日程について。

～日程調整～

【委員長】

それでは全体を通じて何かご意見・質問等があれば。

(特になし)

【委員長】

それでは、本日は第8期の最後となるので、市民公募の方は本日で任期終了となる。一言ずつ、ご挨拶の方をお願いしたい。

【委員】

武蔵野市は図書館が先陣を切っており、脚光を浴びていると思うが、その運営に関して関わりを持てたことは非常に嬉しく思っている。私自身も勉強になった。第2期図書館基本計画の策定に関しては0から皆さんの意見を聞いて、それなりの計画が出来、5年後には僕が作ったものがこのような形で実現したのだなど単に議論しただけではなく、取り入れられてこれが実現したのだなど思えることを非常に楽しみにしている。武蔵野市に引っ越してきて初めてプレイスに来たときにこれが図書館なのかと非常にびっくりした。こんなものを市が公共施設として作ってしまっただけで良いのかと思った。この2年間あっという間に過ぎた。ありがとうございました。

【委員】

最初に公募委員の募集を見た時に武蔵野市の図書館に何か恩返しをしたいということで応募をした。武蔵野市の図書館を通じて、色々なことを見たり聞いたり考えたりした。自分としてはとても勉強となり、楽しい2年間であった。ありがとうございました。

最初に恩返しをしたいという気持ちがほとんど何もできないまま終わってしまい、自分としてはとても残念で歯がゆいなという気持ちも残っている。どうしてできなかったのかなと考えた時に、公募委員は2年という任期が決まっており、プチップチッと切れてしまっており、前にやっていた7期の方たちがどのような思いでやっていたのか分からないまま、私たちも指定管理のことや市民サービスのことを積み残したまま任期が切れてしまうということもあり、公募の方ももう少し引継ぎができれば0から始めないで良かったのかなと思った。自分の非力を棚に上げて文句ばかり言っているようで申し訳ないが、そのようなことも思った。とても楽しく、勉強になったので、これからも武蔵野市の図書館の力になっていきたいと思っている。

【委員】

まず何も知らない立場から勝手なことをたくさん言わせていただき、図

書館側からすれば何を言っているのだと思うことも多々あったかと思いますが、まずは勝手なことをたくさん言わせていただき、すみませんでした。私はもともと民間で働いており、図書館のこのような雰囲気にもまずびっくりしていた。そのため今日は私しかできない話をしたいと思っている。まず、この場でこれだけの人が集まっているのにあまりディスカッションが行われずに静かに進んでしまっているのはもったいない。これから運営をしていく時にもう少し気軽に思ったことを言える場になればよいと思う。そのような場ではないのであれば忘れてほしい。次の市民公募の方がどのような人が来るのかは分からないが、最初石のように固まっているのではなく、皆心の中で考えていることがあるのにその声を聞けずに終わっていくというのがもったいないと思っており、皆さん一生懸命仕事をしていく中で日々色々なことを思っていることがあるはずで、次回の運営委員会の時にもう少しシーンとせずにもう少し話しやすい雰囲気で運営していってもらえると良い。プレイス使いづらいなど好き勝手なことも言ったが、プレイスはあの建物も素敵だし、やっていることも素敵だし、コンセプトも素敵である。武蔵野市の宝であり、色々な人に知ってもらえる大事なポジションでもあり、武蔵野を知ってもらうためには非常に大事な建物であると思う。私たちプレイスを持っているんだぜというのもありつつ、中央はもっとすごいんだぞという風にやっていけるのが武蔵野のすごさであり、自分たちのモチベーションにも繋がっていけるのかなと思う。そのような素敵な要素を一杯持っているのもったいない所をまとめあげて、色々なことをやっていけると良いのかなと思う。今後は後ろの方から静かに見守っていこうと思う。これからは是非楽しい図書館を運営していただけることを期待している。ありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。以上をもちまして、第8回図書館運営委員会を閉会いたします。

ありがとうございました